

Nathaniel Rosen
&
Akimi Fukuhara

Cello Sonata Recital

[Beethoven・Schubert・Grieg]

ナサニエル・ローゼン
&
福原彰美

チェロソナタ・リサイタル

(ベートーヴェン・シューベルト・グリーグ)

“
ヴィブラートは
魂からのメッセージ”

“
一音一音が
玉の如く磨き抜かれた
クリスタルサウンド”

Photo by Sunhao Chou

第六回チャイコフスキー国際コンクールに於いて
アメリカ人チェリストとして初優勝を成し遂げたナサニエル・ローゼンと、
室内楽の名手 福原彰美のデュオによるチェロソナタ・ナイト。

■出演

ナサニエル・ローゼン (チェロ)

Nathaniel Rosen (Cello)

福原彰美 (ピアノ)

Akimi Fukuhara (Piano)

2026. 8. 10 (月)

19:00 開演 18:00 開場

会場 / サントリーホール ブルーローズ
(小ホール)

前売り: 5,000円 当日: 6,000円 全席指定

2026.3.1 (日) AM 10:00より発売

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード] 312160

その他、全国のセブン-イレブンで買い求めいただけます。



Program

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第5番 ニ長調 作品102-2

シューベルト：アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D.821

グリーグ：チェロ・ソナタ イ短調 作品36

Beethoven : Sonata for cello and piano No. 5 in D major, Op. 102, No. 2

Schubert : Arpeggione Sonata in A minor, D. 821

Grieg : Cello Sonata in A minor, Op. 36

Profile

Nathaniel Rosen ナサニエル・ローゼン



Photo by 一楽 ichigaku

1948年カリフォルニア生まれ。判事でありアマチュアヴィオリストの父の元で6歳からチェロを始め、13歳の時に伝説的チェリスト、グレゴール・ピアティゴルスキーの南カリフォルニア大学『音学科特待生クラス』に迎えらる。ロサンゼルス室内楽団の首席チェリスト、ピッツバーグ交響楽団の首席チェリストに就任。1967年キンバー音楽賞優勝、1977年スーンバーグ国際チェロコンクール優勝と相次ぎ、1978年第6回チャイコフスキー国際コンクールにおいては、アメリカ人チェリストとして初の優勝を成し遂げる。以後、ソリストとしてニューヨーク・フィルハーモニック、ロンドン交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団などと共演。アラスカ・シトカ音楽祭の創立メンバー。インターロッケン夏季室内楽音楽祭の芸術監督。カザルス音楽祭、マールボロ音楽祭、バーモント州マンチェスター音楽祭などにて客演。マンハッタン音楽大学、南カリフォルニア大学、イリノイ大学、サウスメソジスト大学等にて教鞭をとる。日本では、チャイコフスキー国際コンクール優勝後の東京・大阪リサイタル、笛吹川国際音楽祭など。2004年チェリスト清水勝雄師メモリアルコンサートにて、美智子上皇后のご来臨を賜る。2011年より日本に移住。現在は、松山市道後伊月庵の隣に住む。

Piano

福原彰美 ふくはら あきみ



Photo by Shuhei Arita

15歳で単身渡米し、サンフランシスコ音楽院、ジュリアード音楽院で学ぶ。ソロ、室内楽、現代音楽と幅広く活動し、秋山和慶指揮／東京交響楽団、山下康介指揮／パシフィック・フィルハーモニア東京、サンフランシスコ交響楽団室内楽シリーズなどに出演。2011年度CHANELピグマリオン・デイズ・アーティスト。Shofushaレーベルにて、ナサニエル・ローゼン(vc)をはじめ、ピエール・アモイヤル(vn)、トビー・ホフマン(va)、ポール・ローゼンタール(vn)といった国際的に名高い演奏家たちと共演。また、クリスティーン・ワレフスカ(vc)のツアーやアルバム制作に参加。近年は音楽書の翻訳にも取り組み、『ブラームスを演奏する』(音楽之友社)を刊行。ソロアルバムに《ブラームス：ピアノ小品集》(レコード芸術準特選盤)がある。

www.akimifukuhara.com